

図書館だより 4月号

令和5年4月発行
阿波高校図書委員会

ご入学・ご進級おめでとうございます。

阿波高校図書館では、皆さんが充実した高校生活を送れるよう、楽しみとしての読書だけでなく、知りたい、学びたい気持ちにお応えしたいと考えています。

がっつり勉強したいとき、ゆっくり本を読みたいとき、ちょっとした空き時間などなど……。

皆さんの来館をお待ちしています。

図書館利用案内

場所 本館4階(音楽室横)

開館時間 8:30~17:00

貸出冊数 10冊まで 貸出期間 2週間

※1年生の皆さんも利用者登録済です。いつでも本を借りることができます。

本：予約・リクエストを受け付けています。

雑誌：「タウン情報トクシマ」「non・no」「ダ・ヴィンチ」

「スクリーン」「日経エンタテインメント」「ニュータイプ」



図書館からのお知らせ

- 「図書館だより」は阿波高HPにも掲載していきます。
- 図書委員さんのオススメ本や新着図書案内などを掲載予定です。
- 1年生の皆さんには、4月中に図書館オリエンテーションを予定しています。

図書館からの風景 ~司書の独り言~

「図書室に誰がいる！」

新1年生から「図書室にいる人は何者？」という声が聞こえてきそうです。小中学校の図書室は昼休みや放課後に担当の先生が開けてくれていたかもしれませんが、県内の高校図書室(館)には原則として「学校司書」と呼ばれる職員がいます。学校図書館の職員というと、先生のイメージがあるかもしれませんが、なので、『「司書教諭」という資格を持った先生なのですか?』と聞かれることがよくあります。

(司書)『いやいや、私は「司書教諭」じゃなくて「学校司書」です』

(生徒)『えっ、先生じゃないの? 何がどう違うの??』

なかなか本質を突いたスルドイ(?)質問です。ざっくり言うと、「司書教諭」は学校図書館の経営や指導(読書指導、学習指導など)を担当し、「学校司書」は学校図書館の資料の整備やサービス面(貸出・返却・レファレンスなど)を担当している*1というと分かりやすいでしょうか?

でも、実はこの「学校司書」、そういう名前の資格があるわけではありません。図書館関係の資格と言えばもう一つ「司書」という資格が有名で、私はその資格を条件に採用されて、阿波高図書室で勤務しています。でも元々、「司書」は主に公共図書館での勤務を想定した資格*2です。私も採用されてから学校図書館だけでなく県立図書館でも勤務していた時期がありました。もしかすると、また県立図書館で勤務することがあるかもしれません。

司書だけでなく、気になる職業や仕事があったら、資格の取り方やその職業について調べてみてください。図書室の進路コーナーでは、様々な職業に就くための本を所蔵していますので、きっと皆さんが進路を考える際の助けになるはずです。

*1 全国学校図書館協議会HP (https://www.j-sla.or.jp/new_shishokyoyu/)

*2 文部科学省HP (https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/gakugei/shisyo/index.htm)